関市農業委員会総会議事録

場所：関市役所 大会議室

○議事日程

平成26年6月26日（金曜日）午前10時00分 開議

- (1) 議事録署名委員の指名
- (2) 議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について
- (3) 議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について
- (4) 議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
- (5) 議案第4号 事業計画変更申請に対する意見について
- (6) 議案第5号 農用地利用集積計画の承認について
- (7) 議案第6号 関農業振興地域整備計画の承認について
- (8) 議案第7号 地積調査において登記上の地目が農地である土地に関する地目認定について
- (9) 報告第1号 農地法第18条第6項の規定による届出について

○出席委員（33名）

2番 大竹 誠 君	3番 東山 武司 君	4番 栗倉 秀夫 君
5番 小川 亮二 君	6番 深川 俊朗 君	7番 加藤 徹 君
8番 大澤 慶一 君	9番 沼田 久男 君	10番 天野 邦男 君
11番 兼村 正美 君	12番 石木 治男 君	13番 篠田 権三 君
14番 村井 雅之 君	15番 山田 公平 君	16番 山本 武 君
17番 足立 孝弘 君	18番 中村 睦明 君	19番 美濃羽 久 君
20番 鈴木 和道 君	21番 土屋 尊史 君	22番 土屋 顯弘 君
23番 丹羽 喜和 君	24番 相宮 千秋 君	25番 永井 博光 君
26番 野村 茂 君	28番 長屋 芳成 君	29番 日置 香 君
30番 藤川 勝 君	31番 村上 忠一 君	32番 伊佐地鐵夫 君
33番 川村 信子 君	34番 長尾 初恵 君	35番 岩田 幸子 君

○欠席委員（1名）

36番 武藤 隆夫 君

○委員以外の出席者

経済部長	坂井 一弘 君	農業委員会事務局長	玉田 和久 君
農業委員会事務局課長補佐	長尾 成広 君	農業委員会事務局主任主査	津谷 和子 君
洞戸事務所 係長	古田 考幸 君	板取事務所 係長	長屋 守世 君
武芸川事務所 主査	松井 信弘 君	武儀事務所 課長補佐	川島 友教 君
上之保事務所 係長	森 太桂弘 君		

午前10時00分 開会

○事務局課長補佐（長尾君） それでは、これから農業委員会総会を始めさせていただきます。まず、市民憲章のご唱和をお願いします。ご起立ください。

（市民憲章を唱和）

ありがとうございました。ご着席ください。それでは、はじめに深川俊朗会長からご挨拶をお願いします。

○議長（深川俊朗君） 平成23年7月20日から皆様と一緒に充実した農業委員活動をしてきました。最近では新しく婚活パーティーも開催し、それなりに成果を上げ無事に終了することもできました。本当にありがとうございました。7月20日以降も継続して活動していただける委員さんもいらっしゃると思いますが、今後も関市の農業の発展のために頑張ってください。

それでは、経済部長にあいさつをお願いします。

○経済部長（坂井一弘君） 会長からのあいさつがありましたとおり、本年7月19日をもって農業委員を退任される方もいると伺っております。これまで関市の農業振興、農地の保全等にご尽力いただき心より感謝申し上げます。

今回も最後までたくさんの案件がございますが、いつものように慎重なご審議をお願いしてあいさつとさせていただきます。

○議長（深川俊朗君） ただ今から、関市農業委員会総会を開催します。本日は、36番 武藤隆夫委員が欠席ですが、会議規則第8条により委員の過半数の出席により総会が成立しました。

次に、議事録署名委員の指名を行います。

7番 加藤 徹委員、8番 大澤 慶一委員のお二人をお願いします。

これより、議案の審議に入ります。

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 議案第1号農地法第3条の規定による許可申請について、説明させていただきます。

農地法第3条の規定により、下記農地の申請があったので、審議を求めます。

1番の案件は位置図が1ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、上大野地内、上大野集会場の南180mほどに位置する農振農用地である田、1773㎡です。

使用借人は、使用貸人より申請地を借り受けて、農業経営の拡大を図りたいというもの。使用貸人は、申請地を相続により取得したが、農業経営が困難になってきたため使用貸人の申し出に応じ貸し付けるといふものです。

6月6日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

2番の案件と同時許可案件になります。

2番の案件は位置図が2ページになります。

所有権移転で申請地は、上大野地内、上大野集会場の南東370mほどに位置する田、419㎡です。

譲受人は、1番の案件の使用借人と同一人物であり、農業経営の拡大を図りたいというもの。譲渡人は、申請地を相続により取得したが、農業経営が困難のため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すといふものです。

6月6日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

以上、所有権移転に関するもの1件、使用貸借権の設定に関するもの1件、農地法第3条第2項各号に該当しないため、許可要件のすべてを満たしていると考えます。よろしくご審議をお願いいたします。

○ 議長（深川俊朗君） 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きします。

○ 3番（東山武司君） 1番、2番について異議ありません。

○ 議長（深川俊朗君） これより質疑を行います。質疑のある方はございますか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第1号について、原案のとおり許可することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは、議案第1号の2件を原案のとおり許可することといたします。

次に、議案第2号農地法第4条の規定による許可申請に対する意見についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 議案第2号農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について、説明させていただきます。

農地法第4条の規定により、下記農地の申請がありましたので、意見を求めます。

議案は2ページからになります。

1番の案件は位置図が3ページになります。

申請地は、肥田瀬地内、富岡公民センターの南東340mほどに位置する田、1634㎡のうち600㎡です。測量図の添付があります。

申請人は、申請地を相続により取得したが、田として耕作するのが困難であったところ、自宅兼農業用倉庫が国道の道路拡幅計画にあがり、申請地に新たな自宅兼農業用倉庫として建築をしたいというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で、集落に接続して設置されるものに該当すると考えられるため第1種農地と判断します。

なお、2番と同時許可案件になります。

2番の案件は位置図が4ページになります。

申請地は、肥田瀬地内、富岡公民センターの南東350mほどに位置する農振農用地である田、1634㎡のうち147.21㎡です。測量図の添付があります。

申請人は、申請地の北側隣接地に農家住宅を建築するため分筆予定であり、分筆後の申請地が細長く田としては生産効率が悪いとため、申請地を嵩上げし、畑として整備したいというものです。

隣接農地の承諾書の添付があります。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

3番の案件は位置図が5ページになります。

申請地は、稲口地内、稲口公民センターの西南西420mほどに位置する田、1015㎡のうち846.36㎡です。測量図の添付があります。

申請人は、申請地及び申請地の西隣の隣接地に、戸建賃貸住宅を建設したいというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、水管下水管が埋設されている道路の沿道にあつて、申請地からおよそ500m以内に2以上の教育、医療施設等があるため、第3種農地と判断します。

5条7番と同時許可案件になります。

4番の案件は位置図が6ページになります。

申請地は、下有知地内、今宮公民センターの北東300mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が宅地、212㎡です。

申請人は、県外に居住しており、帰省した際に宿泊する住居を建設したいというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、宅地であったため、始末書の添付があります

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

5番の案件は位置図が7ページになります。

申請地は、武儀の下之保地内、古布多目的研修集会施設の北東300mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が宅地、494㎡です。

申請人は、県外に居住しており、今般関市に移り住むため、自己用の住宅及び倉庫を建設したいというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、宅地であったため、始末書の添付があります

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

最後に、6番の案件は位置図が8ページになります。

申請地は、武儀の富之保地内、武儀東小学校の北北東1260mほどに位置する畑2筆、2052㎡のうち470.64㎡です。測量図の添付があります。

申請人は、申請地を相続により取得したが、農業経営が困難になってきたため、申請地に太陽光発電施設を設置し有効活用をしたいというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しております。

農地の区分は、第2種農地以外の農地に該当しないため、第2種農地と判断します。

以上6件について、ご審議をお願いします。

- 議長（深川俊朗君） 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きします。
- 2番（大竹 誠君） 1番、2番について異議ありません。
- 7番（加藤 徹君） 3番について異議ありません。
- 10番（天野邦男君） 4番について異議ありません。
- 20番（鈴木和道君） 5番について異議ありません。
- 22番（土屋顯弘君） 6番について異議ありません。
- 議長（深川俊朗君） これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第2号について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

（全員挙手）

それでは、議案第2号の6件を原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。

次に、議案第3号 農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見についてを議題と

いたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 議案第3号農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について、説明させていただきます。

農地法第5条の規定により、下記農地の申請がありましたので、意見を求めます。

議案は4ページからになります。

1番の案件は位置図が9ページになります。

所有権移転で申請地は、肥田瀬地内、富岡公民センターの北北東210mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が雑種地、424㎡、および登記地目が田、現況地目が雑種地304㎡です。

譲受人は、宗教法人を営んでおり、宗教法人が所有する墓地が手狭になってきたため、申請地を譲り受けて、墓地を整備したいというもの。譲渡人は、宗教法人の代表者であり、譲受人の申し出に応じ無償贈与するというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、雑種地であったため始末書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

2番の案件は位置図が10ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、肥田瀬地内、富岡公民センターの南460mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が宅地、60㎡です。

使用借人は、隣地所有者であり、申請地と西側の隣地を含めて、作業所及び倉庫を整備したいというもの。使用貸人は、使用借人の申し出に応じ申請地を貸し付けるというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、宅地であったため始末書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

使用貸借の期間は、許可日から30年間としています。

3番の案件は位置図が11ページになります。

所有権移転で申請地は迫間地内、中部電力中濃変電所の南南西280mほどに位置する田、392㎡です。

譲受人は、ベルトコンベアーの製造を業としており、工場及び駐車場が手狭になってきたため、現工場の隣にある申請地を譲り受け、駐車場の拡張・整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種農地と判断します。

4番の案件は位置図が12ページになります。

所有権移転で申請地は迫間地内、上迫間公民館の西南西540mほどに位置する畑5筆、594㎡です。

譲受人は、建築土木業等を営んでおり、申請地が太陽光発電に適した土地と考え、申請地を譲り受け、太陽光発電設備設置用地として整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種

農地と判断します。

なお、事業計画変更許可申請の1番の案件と同時申請になります。

5番の案件は位置図が13ページになります。

所有権移転で申請地は迫間地内、上迫間公民館の南東370mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が雑種地2筆、358㎡及び登記地目が田、現況地目が雑種地、981㎡です。

譲受人は、4番の案件と同じ事業者であり、申請地が太陽光発電に適した土地と考え、申請地を譲り受け、太陽光発電設備設置用地として整備したいというもの。譲渡人は、高齢により農業経営が困難なため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、雑種地であったため、始末書の添付がございました。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種農地と判断します。

6番の案件は位置図が14ページになります。

所有権移転で申請地は、巾3丁目地内、巾公民センターの南西470mほどに位置する田、1404㎡です。

譲受人は、不動産業を営むとともに申請地近隣に賃貸住宅を所有しているが、駐車場不足が顕著になってきたため、申請地を譲り受け、貸駐車場を整備したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、竹藪で山林であったため、始末書の添付があります。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

7番の案件で位置図は15ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、稲口地内、稲口公民センターの東北東420mほどに位置する田372㎡のうち151.47㎡です。測量図の添付があります。

使用借人は、申請地と東側の隣地を借り受けて、戸建賃貸住宅を建築したいというもの。使用貸人は、使用借人の申し出に応じ申請地を貸し付けるというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、水管下水管が埋設されている道路の沿道にあつて、申請地からおよそ500m以内に2つ以上の教育、医療施設等があるため、第3種農地と判断します。

使用貸借の期間は、許可日から30年間としています。

4条3番と同時許可案件になります。

8番の案件は位置図が16ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は倉知地内、倉知ふれあいセンターの南東60mほどに位置する田2筆、1235㎡です。

賃借人は、申請地近隣に大型商業施設を営んでおり、申請地が県道沿いに面し自動車の通行量も多いことから商業店舗敷地に最適と考え、申請地を借り受け、商業店舗敷地として整備したいというもの。賃借人は、高齢により農業経営が困難になってきたため、賃借人の申し出に応じるというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

賃貸借の期間は、許可日から20年間としています。

9番の案件は位置図が17ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、尾太町地内、松風園の北東200mほどに位置する畑、269㎡です。

使用借人は、現在居住している住宅が、手狭になってきたため、申請地を借り受け自己のための住宅を建築したいというもの。使用貸人は、使用借人の申し出に応じ申請地を貸し付けるというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、畑一部宅地であったため、始末書の添付があります。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

使用貸借の期間は、許可日から35年間としています。

10番の案件は位置図が18ページになります。

所有権移転で申請地は、下有知地内、今宮公民センターの西南西640mほどに位置する畑5筆、5743㎡のうち4196.89㎡です。測量図の添付があります。

譲受人は、不動産業及び太陽光発電事業を営んでおり、申請地及び一体利用地が太陽光発電に適した土地であることから、申請地及び隣接する宅地、雑種地、山林、原野併せて、12607.38㎡を譲り受け、太陽光発電設備を整備したいというもの。譲渡人らは、申請地を取得し芝園の経営をしていたが、経営が困難になってきたため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、おおむね10ha以上の規模の一団の農地の区域内にあるため、第1種農地と判断します。

みなさんもお承知のとおり、第1種農地のみという場合には、太陽光発電施設設置の許可はできませんが、1種農地の不許可の例外が、農地法施行規則第36条にあり、太陽光発電施設の設置に読み替えますと、『売電目的のソーラーパネルを設置するため、1種農地以外の土地と1種農地を一体的に利用し転用したいとする場合、不許可の例外である隣接する土地と一体として同一の事業の目的に供する場合で、第1種農地の割合が3分の1を超えない場合には、許可可能』とあります。

今回の申請では、1種農地は、3筆4166㎡、1種農地以外の農地及び宅地、雑種地、山林、原野などの非農地は、19筆8441.38㎡あり、1種農地の割合は、33.04%と全体の3分の1以内のため、許可できるというものです。

11番の案件は位置図が19ページになります。

所有権移転で申請地は、下有知地内、今宮公民センターの北東120mほどに位置する登記地目が雑種地、現況地目が畑、34㎡、登記地目が田、現況地目が畑、175㎡です。

譲受人は、飲食店を営んでおり、来客用駐車場が手狭になってきたことから、申請地を譲り受け、駐車場を拡張したいというもの。譲渡人は、高齢により農業経営が困難なため、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

12番の案件は位置図が20ページになります。

所有権移転で申請地は、東本郷通2丁目地内、東本郷公民センターの北北東110mほどに位置する登記地目が田、現況地目が畑、615㎡です。

譲受人は、現在居住している賃貸住宅が手狭になってきたため、申請地を譲り受け、自己用の住

宅を建築したいというもの。譲渡人は、譲受人の申し出に応じ譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、畑で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、都市計画法の用途地域内のため第3種農地と判断します。

13番の案件は位置図が21ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、下白金地内、めぐみの農協金竜支店の南西280mほどに位置する登記地目が田、現況地目が宅地、330㎡です。

使用借人は、現在居住している住宅が、手狭になってきたため、申請地を借り受け自己のための住宅を建築したいというもの。使用貸人は、子である使用借人の申し出に応じ申請地を貸し付けるというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、宅地であったため、始末書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種農地と判断します。

使用貸借の期間は、許可日から50年間としています。

14番の案件は位置図が22ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、上白金地内、金竜小学校の北北東220mほどに位置する田、503㎡です。

使用借人は、現在住んでいる住宅が手狭になってきたため、申請地を借り受けて自己のための住宅を建築したいというもの。使用貸人である父は、使用借人の申し出に応じ貸し付けるというものです。

6月9日に現地確認をしたところ田一部雑種地であったため始末書の添付があります。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種農地と判断します。

使用貸借の期間は、許可日から30年間としています。

15番の案件は位置図が23ページになります。

所有権移転で申請地は、上白金地内、上白金公民館の東110mほどに位置する田、770㎡です。

譲受人は、不動産業を営んでおり、申請地が学校の近くにあり住環境が良いため、申請地を譲り受け建売分譲敷地として整備したいというもの。譲渡人は、申請地を相続により取得したが、農業経営が困難になってきたため、譲受人の申し出により譲り渡すというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性ありと確認しています。

農地の区分は、水管下水管が埋設されている道路の沿道にあって、申請地からおよそ500m以内に2つ以上の教育、医療施設等があるため、第3種農地と判断します。

16番の案件は位置図が24ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は、植野地内、植野公民館の北340mほどに位置する登記地目が畑、現況地目が田5筆、2321㎡及び登記地目が山林、現況地目が田3筆、1608㎡です。

賃借人は、不動産業及び太陽光発電事業を営んでおり、申請地が太陽光発電に適した土地であることから、申請地を譲り受け、太陽光発電設備を整備したいというもの。賃貸人は、高齢により農業経営が困難になってきたため、賃借人の申し出に応じるというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、田で農地性有りと確認しています。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦しているため、第3種農地と判断します。

賃貸借の期間は、許可日から20年間としています。

17番の案件は位置図が25ページになります。

賃貸借権の設定で申請地は、武芸川町高野地内、博愛小学校の東270mほどに位置する田3筆、2714㎡です。

賃借人は、木、プラスチック、金属製品の製造販売及び太陽光発電事業等を営んでおり、申請地が太陽光発電に適した土地であることから、申請地を譲り受け、太陽光発電設備を整備したいというもの。賃貸人は、高齢により農業経営が困難になってきたため、賃借人の申し出に応じるというものです。

6月6日に現地確認をしたところ、田で農地性有りを確認しています。

隣接農地の承諾書の添付があります。

農地の区分は、住宅、事業施設が連坦している区域に近接する10ha未満の農地のため、第2種農地と判断します。

賃貸借の期間は、許可日から20年間としています。

最後に18番の案件は位置図が26ページになります。

使用貸借権の設定で申請地は、板取地内、杉島荘の南西660mほどに位置する登記地目が田、現況地目が原野2筆、2759㎡のうち1649.74㎡です。

使用借人は、土木、建築工事請負業等を営んでおり、借り受けた申請地を公共工事の残土処理場とし、工事終了後、耕土をかぶせ畑地転換をしたいというもの。使用貸人は、使用借人の申し出に応じ貸し付けるというものです。

6月6日に現地確認をしたところ、原野であったため、始末書の添付がございます。

農地の区分は、中山間地域の未整備の農地に該当するため、第2種農地と判断します。

以上、所有権移転に関するもの9件、使用貸借権の設定に関するもの6件、賃貸借権の設定に関するもの3件、計18件につきまして、ご審議をお願いいたします。

○ 議長（深川俊朗君） 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きします。

○ 2番（大竹 誠君） 1番、2番について異議ありません。

○ 5番（小川亮二君） 3番、4番、5番について異議ありません。

○ 7番（加藤 徹君） 6番、7番について異議ありません。ただし、一つ問題があります。

6番についてこの土地はとても広い山林・竹藪になっていて農地だなんて誰も思いません。完全な耕作放棄地であるのにも関わらず、そのような土地に挙げられていないことが不思議。調査方法を見直し、今後このようなことがないようにしていくべきだと考えます。

○ 9番（沼田久男君） 8番について異議ありません。

○ 10番（天野邦男君） 9番、10番、11番について異議ありません。

○ 11番（兼村正美君） 12番について異議ありません。

○ 15番（山田公平君） 13番について異議ありません。

○ 17番（足立孝弘君） 14番、15番について異議ありません。

○ 18番（中村睦明君） 16番について異議ありません。

○ 25番（永井博光君） 17番について異議ありません。

○ 29番（日置 香君） 18番について異議ありません。

○ 議長（深川俊朗君） これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第3号の12件について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

それでは、議案第3号の所有権移転に関するもの9件、使用貸借権の設定に関するもの6件、賃貸借権の設定に関するもの3件、計18件を岐阜県知事に進達することといたします。

次に、議案第4号事業計画変更の承認についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。
○事務局課長補佐(長尾成広君) 農地転用許可後の事業計画変更申請があったので、意見を求めます。

議案は12ページになります。

1番の案件は位置図が27ページになります。

申請地は、迫間地内、上迫間公民館の西南西540mほどに位置する登記地目が田、現況地目が雑種地6筆、410.1㎡です。

当初事業計画者は、平成16年12月17日事業計画変更許可により、申請地を自己用及び貸駐車場用地として整備する予定でありましたが、その後、申請地へ乗り入れする橋の建設に見通しがたたなくなつたため、計画を中止したというもの。承継者は、建築土木業等を営んでおり、申請地が太陽光発電に適した土地と考え、当初事業計画者より、申請地を譲り受け、太陽光発電設備設置用地として整備したいというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、雑種地と確認しています。

なお、5条転用許可申請の4番の案件と同時申請になります。

2番の案件は位置図が28ページになります。

申請地は、志津野地内、富野中学校の南南東220mほどに位置する登記地目が田、現況地目が雑種地、666㎡です。

当初事業計画者は、平成12年5月9日5条転用許可により、申請地を自己用住宅として建築する予定でありましたが、諸般の事情により、計画を中止したというもの。承継者は、唐銅製品の製造販売業等を営んでおり、申請地が太陽光発電に適した土地と考え、当初事業計画者より、申請地を借り受け、太陽光発電設備設置用地として整備したいというものです。

6月9日に現地確認をしたところ、雑種地と確認しています。

以上、2件につきまして、ご審議をお願いいたします。

- 議長(深川俊朗君) 事務局の説明が終わりましたので、担当委員の意見をお聞きします。
- 5番(小川亮二君) 1番について異議ありません。
- 議長(深川俊朗君) 2番について異議ありません。

これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第4号の2件について、原案のとおり岐阜県知事に進達することに異議のない方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

それでは、議案第4号の2件について原案のとおり岐阜県知事に進達することといたします。

次に、議案第5号農業経営基盤強化促進法の承認についてを議題といたします。事務局の説明を求めます。

○事務局課長補佐（長尾成広君） 関市長より、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により、農用地利用集積計画の承認を求められたので、意見を求めます。

議案は13ページになります。

賃貸借権の設定に関するもの16筆、10件について、承認を求められています。

新規16筆は農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。

地目は、田が16筆36, 114㎡です。

地区は、東本郷、下有知、黒屋の3地区です。

設定を受ける方は、山下洋史 さんです。

以上、農用地利用集積計画の承認につきまして、ご審議をお願いいたします。

○ 議長（深川俊朗君） 事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

（「なし」の声あり）

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第5号の農用地利用集積計画について、原案のとおり許可することといたします。

続きまして、議案第6号関農業振興地域整備計画の変更に係る意見について事務局からの説明を求めます

○事務局課長補佐（箕浦広臣君） 農業振興地域の整備に関する法律第7条第1項の規定に基づき、農業振興地域の区域の変更申出するにあたり、関市農業委員会のご意見を求めるものです。

16ページの『区域の変更調書総括表』をご覧ください。

No.1は、区域の拡大です。

場所は、小迫間地区で桜ヶ丘中学校のある桜台団地の東隣りです。区域は、17ページの図面太線枠内です。

小迫間字檜洞544番地1外17筆、面積64,551㎡です。（小川義仁氏所有地です。）

現況は、(有)小川牧場が畜産業を営んでいます。

今回、農業施設用地（肉用牛舎及び関連施設）を農振農用地区域に編入するため、農業振興地の除外区域を拡大するものです。

No.2は、区域の縮小です。18ページの図面をご覧ください。太線の枠内が縮小区域です。

場所は、関市倉知で主要地方道江南関線のマーゴ周辺部です。

道路水路も含めて（倉知字会所前800番地1外）202筆、面積108,980.13㎡です。

その内、現況地目が農地は、8筆で、7,086㎡で、内7筆は、農地転用済み（協議中含む）。

残り1筆は、除外済みであるが、転用はなされていません。

区域の縮小を予定している倉知地域は、主要地方道江南関線の沿道で、すでに大型商業施設や家電量販店など商業施設が立地しており、今後も家電量販店や飲食施設などの商業施設が計画されています。

江南関線の沿道は、用途地域が未指定であるものの、大規模商業施設が立地していることから、今回、商業用市街地と位置づけ、都市計画区域の用途を近隣商業地域に定め、農業振興地域の区域を縮小するものです。

江南関線沿いは、道路の端から、東西へそれぞれ30mです。

○ 議長（深川俊朗君） 事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第5号の農用地利用集積計画について原案のとおり許可することといたします。

続きまして、議案第7号地積調査において登記上地目が農地である土地に関する地目認定について事務局からの説明を求めます

○事務局課長補佐(長尾成広君) 関市長より、地籍調査において登記簿上の地目が農地である土地に関する地目認定について、協議を求められたので、意見を求めます。

議案は19ページ、資料は20～22ページ、地図は、今日配布しました議案7号と書いてあります2枚の両面綴りをご覧ください。

では19ページ、今回協議のあったものにつきましては、武儀の富之保地区において、平成13年度から、字武儀倉木綿洞ほか2つの小字の地区、および、平成14年度から字武儀倉柳洞ほか3つの小字の地区で、調査が始まったもので、平成13年度からの調査の21ページを見ていただきますと、

地積調査前と調査後の地目の変動につきましては 田、0.05ha、畑0.74ha がともに0ha(田畑0.79ha 減)になり、一方 宅地0ha が0.11ha、山林が24.12ha から、37.57ha(8.79ha 増)と増えております。

また、平成14年度からの調査の22ページを見ていただきますと、地積調査前の田、0.61ha が調査後に0.54ha(0.07ha 減)、畑2.17ha が0.48ha(1.69ha 減)、一方宅地0.42ha が0.69ha(0.27ha 増)、山林12.09ha が20.88ha(8.79ha 増)などになっております。

地積調査により、合筆、分筆、地目変更などが行われますが、登記地目が農地からの変更地目の大半は、山林になっております。また、調査前後による面積の大幅な増加は、山林であり、正確な測量によるもので、いわゆる縄伸びによるものと思われま

す。この地積調査による登記簿上農地である土地の農地以外への地目変更につきましては、1筆ごとに、農業委員さんと確認したところ問題なしと考えますが、よろしくご審議をお願いいたします。

○議長(深川俊朗君) 事務局の説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方はございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑もないようですので、これより採決いたします。議案第7号の地積調査において登記上の地目が農地である土地に関する地目認定について、原案のとおり許可することといたします。

続きまして、報告第1号農地法第18条第6項の規定による届出について事務局からの説明を求めます。

○事務局課長補佐(長尾成広君) 報告第1号農地法第18条第6項の規定による届出 賃貸借の合意解約の届出について、説明させていただきます。

報告第1号 農地法第18条第6項の規定による届出 賃貸借の合意解約の届出について、説明させていただきます。

今回1件の届出があります。議案は14ページになります。

番号1の案件は借借人が石原 信介さんです。

富之保地内の田1筆、1000㎡です。

合意解約日及び土地引き渡し日は、平成17年12月22日です。

- 議長（深川俊朗君）以上をもちまして、議案の審議はすべて終了いたしました。
その他について事務局の説明を求めます。
- 事務局課長補佐（長尾成広君） 次回の総会は8月6日午後3時からの予定です。
また、6月の主な行事予定は、6月27日が農業会議答申日です。7月は17日が転用申請等
現地確認日、18日が農業会議答申日です。
- 議長（深川俊朗君） これをもちまして閉会といたします。ご苦労様でございました。
午前11時00分 閉会

本日の会議の顛末を記録し、相違ないことを証するためここに署名する。

議長 関市西神野641番地

㊟

7番 関市巾2丁目95番地

㊟

8番 関市下有知3522番地

㊟